

令和元年度 安曇野市食育推進会議 会議概要（要約）

- 1 審議会名.....安曇野市食育推進会議
- 2 日 時.....令和元年2月17日 午後1時30分から午後3時00分まで
- 3 会 場.....本庁舎 共用会議室305
- 4 出席者.....本郷会長、堀内副会長、中田委員、竹内委員、高岡委員、徳原委員、堀内委員、水野委員、藤原委員、保高委員、小林委員
- 5 市側出席者.....高橋保健医療部長、古畑健康推進課長、中澤センター長、高橋課長補佐、小松管理栄養士、三沢管理栄養士、近藤管理栄養士、堀川歯科衛生士
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....0人
- 8 会議概要作成年月日.....令和2年2月20日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - (1) 開 会
 - (2) 委員の委託
 - (3) 会長あいさつ
 - (4) 保健医療部長あいさつ
 - (5) 自己紹介
 - (6) 協議事項
 - ① 第3次安曇野市食育推進計画について
 - ② 令和元年度食育推進事業進捗状況及び令和2年度事業計画（案）について
トピックス発表：食生活改善推進協議会
 - ③ その他
 - (7) 閉会
- 2 審議概要
 - ① 第3次安曇野市食育推進計画について
（事務局）資料-1について説明。
（会 長）長野県の分析だと、70歳以上のメタボでアルブミンが低い方の医療費は、肥満がなくてアルブミンが正常の方の医療費と比べると差がある。70歳を超えると15%が低栄養になる。また、子どもの頃の栄養教育が将来の健康に繋がっている。
（委 員）学校でも生活習慣病予防のための食事や運動について様々な機会を作っている。血液検査の結果をもとに生活習慣病の早期発見・早期治療に心掛けている。
（委 員）給食での好き嫌いによる残食は、完食するように指導している。10年前に比べると子どもの食が細くなったと感じる。
（会 長）朝食欠食の子どもは、空腹のため給食をたくさん食べて、その結果血糖や脂質が高くなり、生活習慣病につながる。1日3食食べるよう広めてきた。運動も家庭の影響を大きく受ける。
（委 員）寒くなると部活で遅くなったり、塾のために登下校を親が車で送迎している家庭もある。徒歩通学で歩くだけでも十分な運動にはなると思う。
（会 長）車で送迎の生徒は、そうでない生徒と比べて善玉コレステロール（HDL-コレステロール）が低いデータがあり、動脈硬化性の疾患になりやすいという結果が出ている。
（委 員）計画書24ページの目標指標について、策定時の現状に対して目標値の記載が分かりにくいと思う。
（事務局）国の指標にも合わせたものであるため、国と違いが無いように指標を作成した。市民に示す時は、解説等の工夫をいく。
（委 員）家での食育の教育は難しいと思う。住民は食育推進計画を閲覧できるか。
（事務局）計画は市のホームページや本庁の健康推進課、穂高健康支援センターの窓口で閲覧

できる。機会があれば説明も可能。

- (委員) 食改の活動で毎年夏休みに親子料理教室や秋には骨太クッキング教室・減塩スキルアップ教室などを行っている。広報に掲載し、一般市民の参加者を募集している。平日開催のため、若い世代の参加が少ないのが現状。
- (会長) 良い事業だが、情報としてどう伝えていけば良いのか。若い方にはどうアピールしていけば良いのか。高齢者だけの感覚では無く、多くの人からの意見をいただくのが重要だと思う。
- (委員) 栄養士会は妊娠期から全てのライフステージに関わっている。学校等の教育関係がやっても、家庭から変わっていかないと食生活を変えていくのは難しいと思う。「働き方改革」が言われているが、私は「生き方改革」だと思う。共働きだと親が忙しくて家庭での経験・体験をさせられないのが現状。そのための「働き方改革」「生き方改革」であり、これから方向性が変わっていくのではないかと思う。スポーツ栄養学にも関わっているが、スポーツをやっている子の親は、甘いものやジュース・スナック菓子等を禁止しており、きっちり守られている。家庭で一生懸命取り組んでくれている。各ライフステージにおいても一度見直しをする必要があると思う。

② 令和元年度食育推進事業進捗状況及び令和2年度事業計画(案)について

(事務局) 資料-2について説明。

- (委員) 「手作り弁当の日」を現在取り組んでいるのは中学校、小学校の1校ずつのみ。「手作り弁当の日」を行うと家庭から変える事が出来る。子どもが自分一人で献立を考え、食材を買い、調理、片付けまでするので、これを行うと家庭から変わっていく。ひとり親だと子どもが可哀想と思うかもしれないが、ひとり親であればこそ子ども一人で生きていかなければならないので、その子の為にも「手作り弁当の日」は非常に良い企画なので、他の学校にも取り組んでほしいと思う。

(事務局) 貴重な意見として、担当課に伝える。

- (委員) 学校の「手作り弁当の日」は以前から話しが出ているが、広まっていないのが現状。実際にどこにどのように働き掛けたら良いか教えてほしい。

- (委員) 教育委員会や校長会など。良い事だとは皆分かっているが、難しく考えすぎていると思う。初回は、おにぎり+おかず1品にして、最近ではごはん+おかず3品で、月曜日に設定しているため、日曜日に準備をして朝詰める事が出来る。学校ではランチルームで食べるため、お弁当をみんなで共有出来る。

- (会長) 一番初めにやる事は凄くハードルが高いと思う。

資料-2について発表してもらったが、どこが新しくどこが削られたのか分かりにくい。継続もあるが、どこが新しいのか教えてほしい。

- (事務局) 健康推進課の新規の取組は、資料-2の壮年期・前期高齢期の保健指導、フレイル予防として特定健診と後期高齢者健診の受診者に血清アルブミン検査を行う。低栄養の方の人数の分析と、個々の健診受診者には保健指導担当者がその状況に応じた保健指導を行う。そして高齢者の保健事業と介護予防の一体化の事業もある。フレイル予防の観点から、若い時から壮年期の方がどの保健指導をしていけば良いのか健康推進課と国保年金課と介護保険課の3課でプロジェクトを発足して検討を行っている。歯科保健事業では、今まで特定健診に来た方に健診受診の機会が設けられていたが、来年度は節目の方を対象にする事により、今まで健診に来られなかった方にも歯科健診の機会を設ける。40歳・50歳・60歳の方に個別通知し、実施する予定。

- (会長) 資料-2の学齢期の「アウトメディアデー」を説明してほしい。

- (委員) メディアを一切使わないという日。メディアを使わず家族とご飯を食べる時間を大切にすることが食育の一環になる。中学校のテストの前日に「アウトメディアデー」を設けたため、テスト勉強のためにパソコンで調べ学習をする以外はゲームやネットから距離を置く事が出来た。兄弟関係を考えて小学校も併せて地域の3校一緒に実施した。中学生からは、「親と喋る時間が作れた」「普段うっかり見てしまうのを我慢できた」「勉強に集中出来て良かった」等の感想があった。「アウトメディアデー」を設けた事で子ども達の意識が高まった。定例化していければ良いと思う。

(委員) これについて今年度は小中学校ではメディアの講演会が主だったため、他に1～2校実施していると思う。来年度からは親にも講演会に参加してもらい、一緒に取り組んでいきたい。

資料-3による食生活推進協議会トピックス発表

(会長) 私が以前管理栄養士と親子料理教室をやった際には、メディアが2～3社入ってテレビで実況中継を行った。市の広報で実施後の結果の掲載やメディアを使って活動を広めてほしいと思う。

③ その他
特になし

※会議概要は、原則として公開します。